

① びてんば 市議会だより

Letter From the Municipal Gotemba City Assembly

夏
第118号

2023年7月21日発行



夏の風物詩 ～富士山とわらじ大祭～

- 議場見学……………02
- 補正予算をピックアップ……………03
- 市議会講演会、本会議の審議状況……………04
- 議案の審議結果一覧……………05

- 一般質問(11人)……………06～11
- 広報委員会行政視察報告……………11
- 議長日記、令和4年度政務活動費、
9月定例会の予定、編集後記……………12

視覚に障がいがある方のための、音声による「市議会だより」もあります。 問い合わせ／図書館 TEL.0550-82-0391

御殿場市議会

Gotemba City Assembly

発行／御殿場市議会

編集／広報委員会 御殿場市萩原483 TEL.0550-82-4323 FAX.0550-82-4326

御殿場市議会

検索



YouTube

令和5年6月定例会の一部を
録画配信します。

※インターネットへのアクセスが
発生するため、通信料がかかります。



御殿場小学校
の皆さん



印野小学校
の皆さん



御殿場小学校・印野小学校
東小学校・御殿場南小学校の
皆さんが議場見学に来てくれました。

定例会の最中は
緊張感の漂う議場
ですが、この日は小学生の
元気いっぱいな声で
溢れかえっていました。

議場 見学

説明がはじまると真剣に
メモを取っており、また、
定例会の一般質問が
ユーチューブで動画配信
されていると聞くと、
興味深く聞く姿が
見て取れました。



東小学校の皆さん



御殿場南小学校
の皆さん



補正予算を ピックアップ

デジタル地域通貨普及促進事業費など追加

令和5年度一般会計予算の総額を第1号補正により、1億8,100万円増額、第2号補正により、2億6,500万円増額、第3号補正により、5,900万円増額し、総額400億500万円に。
主な追加は住民税非課税世帯等支援給付金事業費、デジタル地域通貨普及促進事業など。

PICK UP
01

母子生活支援施設等 措置費

1,200 万円

母子生活支援施設への入所世帯の措置費として施設へ支払う扶助費です。



PICK UP
02

住民税非課税世帯等 支援給付金事業

1 億 9,200 万円

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用し、コロナ禍において原油価格・物価高騰等に直面し生活困窮する世帯の負担を軽減するため、住民税非課税世帯等に対して給付金を支給するものです。

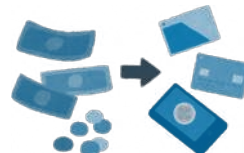


PICK UP
03

デジタル地域通貨 普及促進事業

1,400 万円

物価高騰による家計悪化に直面している低所得の子育て世帯に対し、本市独自のデジタル地域通貨富士山Gコインを活用し、生活支援及び地域経済活性化に資する給付事業を実施するための委託料を増額補正するものです。



【その他補正予算の主な事業】

(単位:千円)

	追 加 額
新型コロナウイルス予防事業	166,000
低所得の子育て世帯に対する子育て世帯生活支援特別給付金事業	72,900
スポーツツーリズム推進事業	9,914
デジタル社会推進事業	8,853

6月定例会は、6日から20日までの15日間の会期で開催しました。条例の一部改正や工事請負契約の締結、補正予算など14議案を審議しました。審議結果は5ページに掲載しています。



市議会講演会



「市民と共に歩む市議会のこれから」市民会館小ホールにて

御殿場市議会は、議会が抱える諸課題に対して調査・研究を進めるため、明治大学自治体政策経営研究所と委託契約を交わしています。

今回は「市民と共に歩む 市議会のこれから」について、明治大学政治経済学部の中村久仁彦教授による講演会を行いました。

今回の講演会は市民会館の小ホールで行い、一般市民も集まりました。議会の役割の一つである行政のチェック機能に加え、市民の声を聴いて形にする政策立案・形成の実現に向けて、今後も議会機能の充実に取り組んで参ります。

A 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金については、国から令和4年度の最終交付額として配分されたもの。これで令和4年度の当該交付金の総額は4億5300万円余となり、この全体の中から各種感染防止対策、物価高騰に対する市内事業者への支援、プレミアム付デジタル商品券事業等に充当した。

Q 国庫補助金「新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金」1940万円余の使途について伺う。

承認第2号 専決処分の承認を求めることについて(令和4年度御殿場市一般会計補正予算(第8号)について)

本会議の審議状況

本会議で行われた議案審議の中から、主なものを掲載します。

A 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金については、国から令和4年度の最終交付額として配分されたもの。これで令和4年度の当該交付金の総額は4億5300万円余となり、この全体の中から各種感染防止対策、物価高騰に対する市内事業者への支援、プレミアム付デジタル商品券事業等に充当した。

Q 国庫補助金「新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金」1940万円余の使途について伺う。

承認第2号 専決処分の承認を求めることについて(令和4年度御殿場市一般会計補正予算(第8号)について)

議会で次の4つの事業を行うもの。

① スポーツ合宿やスポーツイベントの誘致を更に進めるため、市内の温浴施設を発着するランニングコースやサイクリングコースの造成等を行う。

② サイクルスポーツのまちづくりの1つとして、富士山登山道を活用した富士山ヒルクライム等のサイクリングイベントの開催。③ 空手を活用した武道ツーリズムを推進するため、空手大会協賛者の獲得方法等の知見を得るため、スポーツ専門人材の活用を行う。

議案第30号令和5年度御殿場市一般会計補正予算(第3号)について

Q スポーツツーリズム推進事業費の詳細について伺う。

A スポーツ庁の補助金を用いて、スポーツタウン御殿場推進協議会が次の4つの事業を行うもの。

① スポーツ合宿やスポーツイベントの誘致を更に進めるため、市内の温浴施設を発着するランニングコースやサイクリングコースの造成等を行う。

② サイクルスポーツのまちづくりの1つとして、富士山登山道を活用した富士山ヒルクライム等のサイクリングイベントの開催。③ 空手を活用した武道ツーリズムを推進するため、空手大会協賛者の獲得方法等の知見を得るため、スポーツ専門人材の活用を行う。

④ トップアスリート等の交流の機会として、また、東日本大震災以降、本市で受け入れしているJFAアカデミー福島との継続的な交流の機会として、誰もがともに楽しめるサッカーイベントの開催を行うもの。

スポーツタウン御殿場は、年度当初の事業計画に加え、これらの事業を幅広く行うことにより、スポーツ交流によるまちづくりを官民連携で更に進めていく。

令和5年
6月
定例会

議案の審議結果一覧



全会一致で可決等された議案

専決処分の承認 [5件]	専決処分の承認を求めることについて(令和4年度御殿場市一般会計補正予算(第8号)について)
	専決処分の承認を求めることについて(御殿場市都市計画税条例の一部を改正する条例制定について)
	専決処分の承認を求めることについて(御殿場市国民健康保険税条例の一部を改正する条例制定について)
	専決処分の承認を求めることについて(令和5年度御殿場市一般会計補正予算(第1号)について)
	専決処分の承認を求めることについて(令和5年度御殿場市一般会計補正予算(第2号)について)
予算 [1件]	令和5年度御殿場市一般会計補正予算(第3号)について
条例 [3件]	御殿場市道路占用料徴収条例の一部を改正する条例制定について
	御殿場市河川管理条例の一部を改正する条例制定について
	御殿場市下水道事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例制定について
その他 [4件]	西中学校外構整備工事請負契約の締結について
	市道路線の廃止について
	市道路線の認定について
	市道路線の変更について
報告 [7件]	繰越明許費繰越計算書について(令和4年度御殿場市一般会計予算)
	事故繰越し繰越計算書について(令和4年度御殿場市一般会計予算)
	予算繰越し繰越計算書について(令和4年度御殿場市上水道事業会計予算)
	予算繰越し繰越計算書について(令和4年度御殿場市簡易水道事業会計予算)
	予算繰越し繰越計算書について(令和4年度御殿場市公共下水道事業会計予算)
	予算繰越し繰越計算書について(令和4年度御殿場市農業集落排水事業会計予算)
	御殿場市小山町土地開発公社の経営状況について

賛否が分かれた議案

○…賛成 ×…反対

※議長(菅沼 芳徳)は採決に加わりません。

専決処分の承認を求めることについて
(御殿場市税賦課徴収条例等の一部を改正する
条例制定について)

承認

阿久根 眞一	永井 誠一	辻川 公子	高木 理文	中島 宏明	川上 秀範	菅沼 芳徳	林 義浩	土屋 光行	本多 丞次	神野 義孝	田代 耕一	小林 恵美子	勝間田 博文	杉山 護	芹沢 修治	黒澤 佳壽子	高橋 利典
○	○	○	×	○	○	※	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

市議会ホームページへ議案資料等の掲載を始めました。議案の内容を確認したい場合にご活用ください。



永井 誠一
せい いち

改新



教育現場における防災について

問 災害時引き渡し基準がまちまちであるが今後の対応は。

答 市内統一の「災害時の学校対応ガイドライン」を基に各学校における対応ガイドラインを作成。地震の際の引き渡しの判断基準については、統一の判断基準となるように調整を図る。

悪天候時の市内統一の対応として、登校前は午前6時の段階で御殿場市に「特別警報」「暴風警報」「洪水警報」「暴風雪警報」のいずれかの発令で原則休校。登校後は警報に関係なく児童生徒の下校が危険と判断した場合、下校時間を早めたり、保護者引き渡しを行う対応をとっている。

問 富士山噴火時のマニュアルは富士山ハザードマップ改訂に沿っているか、また教職員の研修はいかがか。

答 富士山ハザードマップの改訂に伴い、今年3月に富士山火山避難基本計画が見直され、市においても、それに基づいた計画が今年

度中に作成される予定である。富士山噴火時の学校の対応は、保護者への引き渡しまでが中心となるが、見直し後の避難計画では、「噴火警戒レベル3」で学校など児童関連施設は休校措置を取り、保護者への引き渡しを実施。富士山噴火に伴う対応が急務である印野小学校や玉穂地区において、今年度中に危機管理課による富士山火山避難計画の内容説明、避難所開設の留意点等の研修会やモデル区訓練を実施。他の学校においても危機管理課の協力を得て教職員研修の実施を検討。



新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴う対応及びウィズコロナについて

問 2類から5類に変更された具体的事項について

答 発熱時や外来医療時などで大きく1点目は、外来医療費がほぼ初診料のみで受診できたものが、初診料以外に検査料、処方箋料のほか、季節性インフルエンザと同程度の自己負担額が発生する事。2点目は、国が推奨する療養期間が発症日から5日間は外出を控えることを「推奨」に変更し、患者本人以外の同居家族に外出の行動自粛を求めない事。3点目は、県などからの健康観察・療養支援の変更で、高齢者等への保健所からの調査や健康観察の連絡がなくなる。また、外出自粛期間がなくなったことにより、食糧支援や宿泊療養施設などの支援がなくなったことである。

問 5類へ移行後も求められる新たな健康習慣について

答 ①体調不良や症状がある時には自宅療養か医療機関を受診



中島 宏明
なかしま ひろあき

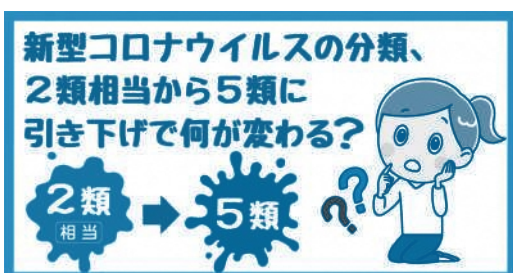
至誠



問 感染症に強い「御殿場らしいまちづくり」について

答 医療機関と連携を図る医療対策本部会議等、危機管理体制を維持する。また、市民へのワクチン接種と基本的な感染防止対策の呼びかけが重要。「正しく恐れる」姿勢が大事であり、急激な状況変化には市長として状況をしっかりと見極め全力で取り組む。

すること②その場に応じたマスクの着用やせきエチケットの遵守③密を避けること④手洗いの励行⑤適度な運動と食事などが重要とされる。





阿久根真一 あくねしんいち
改新

一般質問
YouTube
モバイルサイト
QRコード



災害時における要配慮者避難支援と避難所の拡充・充実に

問 避難行動要支援者に対する実態調査の結果は。

答 市が把握している避難行動要支援者数は2596人であり、このうち要支援者として地域へ提供する名簿に掲載・提出することに同意が得られた方は、1023人である。

問 名簿提出に対して同意に至らない背景は。

答 平時にあつて個人情報地域に知られることへの懸念や、それほど必要性を感じていない方、自ら意思表示するのが難しい方なども含まれている。民生委員の説明により同意に至ったケースもあり、今後も継続的に命を守る防災制度として周知と理解を求めていく。

問 名簿や個別避難計画については情報の一元化・共有化していくためにもデータベース化していくことが必要では。

答 ※クラウド型被災者支援システムの早期導入について積極的に推進していく。

問 保育所・こども園等を乳幼児等の福祉避難所として新たに指定出来ないか。

答 現状として、市内の保育所等は福祉避難所としての機能を整備していないが、災害発生時においても通常保育や災害復旧を事由とした園児の保育といった保育所機能を持しながら、保育に支障がない範囲で乳幼児等を受入れることができる避難所として活用できるよう体制を構築していく。



■現在の主な福祉避難所

知的障害者等	高齢者、身体・精神障害者等	最大受け入れ人数
・富岳の園 ・富岳の郷 ・野菊寮 ・さくら学園	・オレンジシャトー富岳 ・御殿場十字の園 ・白雪 ・すずらん	200名 (130名分が不足)

■拡充策として

市内17の旅館・ホテルと災害協定を締結	1,600名
---------------------	--------

+

を新たに確保

※個別避難計画の作成支援、及び災害時には罹災証明書のコンビニ交付など被災者の利便性も向上させる総合的支援システム



黒澤佳壽子 かすこ
新風
ごてんば

一般質問
YouTube
モバイルサイト
QRコード



障害者計画に基づいたまちづくりについて

第6次御殿場市障害者計画(令和5～9年度)の基本理念の全ての市民が共に生き共に暮らし共に支え合う「共に生きる福祉のまちづくり」には障害者福祉サービスの充実が必須である。

問 障害者福祉の施策とSDGsでの位置付けについて

答 施政の重要施策の展開は障害者福祉の充実につながる。デジタル化推進は市民の負担の軽減、SDGs推進は誰一人取り残さない社会につながる。

問 障害者計画の基本目標の①理解と交流・社会参加の促進について

答 障害に対する理解を深めるために関係団体・機関と協力、連携し啓発活動を推進し地域活動に参加しやすい環境整備に努める。小中学校では福祉教育の年間活動計画に沿って福祉体験、交流活動を継続していく。

問 ②教育・療育の充実について

答 個々のニーズに応じた教育の質の向上、きめ細かな療育等子どもの将来を見据えた切れ目のない支援体制を充実。

問 就労支援と生活の安定について

答 特性に応じた就労支援を推進。「親亡き後」の不安に寄り添う相談体制を構築する。

問 市長の障害者福祉推進への意気込みについて伺う。

答 移動支援活動等、障害者に寄り添うみんなの心が一番大事。誰もが個性と能力を発揮し、安心して生活できる情のある御殿場のまちを創っていく。





高橋 利典
としのり

新政



スポーツによる地域活性化について

本市が推進している「スポーツタウン御殿場」について、本市に現存するスポーツ施設を有効活用することにより、合宿やスポーツ大会開催による地域振興及び地域経済発展につなげるについて伺う。

問 スポーツタウン御殿場の進捗状況について伺う。

答 御殿場の魅力ある地域資源や東京2020大会のレガシーを活かしたスポーツ交流によるまちづくりのため、あらたにスタートした取り組みで、空手、サイクルスポーツ、モルック等順調に進捗している。

問 スポーツにおける他の自治体との連携について伺う。

答 近隣2市1町で市町レガシー推進協議会を設置、環富士山地域4市1町の富士山ネットワーク会議にはスポーツ事業研究会を設け、県内のスポーツ資源を広域的に情報発信している。今後も、県内他市町と連携しスポーツ交流を推進したい。



問 本市のスポーツ施設を地域振興や地域経済にどのようなにつなげるか伺う。

答 本市で行われるスポーツ大会やイベントは、県内外から多くの参加者や観客、関係者が宿泊し飲食、観光等に大きな経済効果をもたらしている。今後も、官民が連携しながら地域振興や地域経済の発展のため尽くす。

『富士山Gコイン』について



川上 秀範
ひでのり

新風
ごてんば



問 これまでの成果、評価について

答 現在、富士山Gコインが使用できる加盟店舗は、300店舗を突破。デジタル地域通貨を活用した地域経済活性化及びまちづくりの好事例として内閣府・総務省の説明会・ニュースレターなどで紹介された。また、全国各地の自治体・議会からの視察や問合わせを数多くいただき評価されている。

問 現時点での課題について

答 カードタイプが利用できる店舗の拡大が課題。

問 付与ポイント配布ルールについて

答 今後は、デジタル社会推進委員会に今年度設置された「地域通貨部会」などの場で、同種同規模の事業などを比較検証しながら、ポイント付与数の基準などについて協議する。

問 地域外からの資金流入の施策について

答 今年1月末、市内への通勤通学者などの関係人口や、市外の方に利用を解禁。全国のセブン銀行でチャージした際、市民同様1・5%のチャージポイント付与、2月・3月は本市内での消費に対し10%ポイント還元キャンペーンの対象とした。

問 今後の目指す方向性について

答 世界遺産富士山の麓にふさわしい、SDGs未来都市として「富士山Gコイン」を活用し、持続可能なまちづくりと、国が提唱する「デジタル田園都市国家構想」を体現していくまちづくりを、力強く進めていく。

御殿場市デジタル地域通貨
「富士山Gコイン」
PRキャラクター



御殿場高校生活創造デザイン科3年生考案
(御殿場市デジタル地域通貨名称等選定委員会選定)



林

義浩
よしひろ

市民21

一般質問

YouTube
モバイルサイト
QRコード



御殿場駅前商店街活性化について

問 市が考える御殿場駅前商店街の理想像を伺う。

答 富士山を有するまちの玄関口として、中心市街地にあつて、交通の拠点にあることから、市民をはじめ通勤通学者や観光交流客にとつて過ごしやすく利便性が高く、多くの人が行き交い、バリアフリーにも配慮された商店街と考えている。

問 商店街を応援するイベントなど賑わい創出の支援策を伺う。

答 中心市街地の賑わい創出イベント「駅まえる」について、駅前商店街と連携して回遊を促す形で複数回実施するほか、中心市街地の貸しホール等の利用を支援すること等により賑わいの創出を図る。

問 鎌倉や浅草仲見世など空き店舗のない商店街がある。鶴岡八幡宮や浅草寺など目的地に向かつて伸びている。商店街活性化としての新橋浅間神社の位置づけと考え方は。



答

神社は富士山御殿場口登山道の起点として歴史を有し、富士山の伏流水やわらじ祭りなど貴重な観光資源かつ市民の憩いの場でもあると位置づけている。駅前商店街活性化のためには駅から浅間神社までを結ぶ道路を歩行者の導線として、観光誘客や賑わいづくりに取り組んでいくことが効果的と考える。

問 駅前商店街の今後の展望を伺う。

答 短期的には、賑わい創出などを図り、長期的には御殿場らしさを意識した魅力づくりや景観形成により、「観光型の商店街」形成を目指していく。



高木

理文
まさふみ

無会派
日本共産党

一般質問

YouTube
モバイルサイト
QRコード



学校給食の質の向上と無償化の実現について

問 憲法第26条の認識について伺う。

答 憲法第26条に定める、基本的人権としての教育を受ける権利や義務教育については、全ての国民の根幹に係わるもので、重んじるべきものである。

問 原材料費高騰でも子どもたちの給食はコストではなく、質の追及を維持すべきである。その方向性について伺う。

答 学校給食が教育の一部であることを踏まえ、目先のコスト優先ではなく子どもたちの健全な成長を目指し、学校給食の質の向上に努める。

問 教職員の皆さんが給食費徴収に係わるが、給食費無償化は教職員の時間的、精神的な負担解消策にならないか。

答 学校費と給食費を合わせて集金している現状では、学校給食費の無償化だけでは教職員の負担

解消の根本的な解決策にはならず、給食費の無償化にはつながらない。

問 1085筆の「小中学校給食費の無償化を求める署名」が市長、教育長に提出されたが、署名に託された市民の声をどう受け止めたのか伺う。

答 関係職員一同で拝見し、真摯に受け止めた。

問 給食費の4分の1助成事業のさらなる拡充を含め、無償化実現について伺う。

答 給食費の助成事業は、今後も継続実施する。更なる拡充は財源確保が最大の課題であり、国、県にも働きかけていく。学校給食の完全無償化は本来、国主導の制度として展開すべき。



「一年間の学校給食費(1/4助成適用)は、小学生:39,820円、中学生:48,180円」



辻川 公子
きみこ

無会派



学校における水泳指導と プール利用の在り方について

夏休みの学校プールの使用が中止になった中、今後の水泳指導と地域振興及びプールの使用方針について伺う。

問 水泳の授業日数の現状は
いかがか。

答 コロナ感染状況や天候の影響により、学校や学年により回数に差異が生じている。

問 水難事故を未然に防ぐ授業
実態はいかがか。

答 不意に水に落ちた時でも慌てず呼吸を確保する「着衣泳」を行う。日赤の協力による水上安全講習を市内2校で実施。

問 市内学校プールの老朽状況
と整備計画はいかがか。

答 30年以上経過しているプールが6施設・30年未満が4施設。長寿命化を図っていく。

問 夏休み小学校のプール開放
が中止となった経緯は。

答 熱中症と雷雨や登下校時の落雷及びプール監視時PTAと教員が児童の情報を把握していないので、子供の安全確保が難しく中止とした。

問 夏休み期間中、天候に左右
されない屋内学校プールが
建設年数の新しい御殿場小学校
プールを明倫小学校の事例を参
考として、地域開放しては。

答 健康増進と地域活性化となる良い面もあるが、一方、安全管理の責任等の課題については、慎重に研究する。

問 玉穂ふれあいプールを夏休み
児童に無料開放をしては。

答 子供のプール利用無料は意義あるものだが、課題についてその可能性を検討する。



御殿場小学校プール

芸術文化・スポーツによる まちづくりについて

問 今後の市の取り組みについ
て伺う。

答 「ごてんばの日」記念事業として、市民芸術祭のオープニングセレモニーで御殿場市歌の合唱や御殿場音頭の演舞を実施したい。また、夏期巡回ラジ体操を誘致し、8月末に陸上競技場で開催する。

そのほか、中心市街地にある民間施設を活用して行う芸術文化活動に対し、施設利用料を支援する。スポーツ分野でも、全国大会に出場する選手に対し交付している賞賛金に、富士山Gコインを上乗せする事業を始めた。県が「東アジア文化都市」に選定されたので、好機を逃さず「富士山登山駅伝競走大会」「空手道大会」等の本市で開催する事業や芸術文化、食、自然環境等を国内外に発信していく。

デジタル社会に向けた 御殿場市の取り組みについて

問 今後のデジタル推進の方向
性について伺う。



小林恵美子
えみこ

公明党



答 「書かない・待たない・行かない」行政窓口の実現やマイナンバーカードの活用シーンの拡大、富士山Gコインの普及促進など、生活の身近な場面で市民に便利さを実感していただける社会を目指していく。

さらに、自治会活動において役員の負担軽減を図るべく、電子回覧板による情報提供の迅速化を検討する。今年度は、富士岡地区がモデル区実証事業を実施する。





じんの
神野
よしたか
義孝

新政



浜松市との観光等の連携強化について

徳川家康公が主人公の大河ドラマ「どうする家康」が放送中である。本市は、浜松市と令和3年、観光・食・文化の連携協定を締結した。放送に併せた施策により、両市の関係が強固になり地域の活性化につながる。

問 連携協定の目的は。

答 我が国が誇る観光資源である富士山と浜名湖を活用した国内外からの観光交流等の取り組みについて2市の連携、協力により、活性化が図れる。

問 家康公の御殿として残っている市名の周知方法は。

答 観光ガイド「四季でつづる御殿場日記」の中で「御殿場ヒストリー」として紹介している。また、浜松市が制作している大河ドラマの放送に併せた「家康公ゆかりの地」ホームページで、本市の情報掲載をしてもらうよう進めている。

問 ごてんばの日イベントにおける連携は。

答 「5108（ごてんば）産業フェア」へ、浜松市長のご出席を依頼すると共に、浜松市の観光PRブースや物産市などの出展を予定している。当日は、御殿場コシヒカリと、浜松のパワーフードである「うなぎ」や「あさりしぐれ煮」や「のり」で作った「御殿場×浜松」のコラボおにぎりの試食コーナーを設置する。併せてチラシやノベルティの配布によるPRを行うなど、両市の食の魅力の発信をきっかけとし誘客促進につなげていく。



家康公にゆかりのある両市の連携強化（家康公の御殿）

※ノベルティ：企業が製作し無料で配布するもの。

広報委員会

行政視察報告

愛知県知立市議会の広報活動について、以下3点①「議会出前講座について」②「議会広報紙について」③「インターネット等を活用した会議公開について」視察した。

①「議会出前講座」は、議会基本条例に準拠して各3常任委員会がテーマを決定し、市民が希望する委員会に参加できる委員会座談会として開催していた。他に高校生議会・議会報告会も行い、市民との意見交換の場を大切にしていた。その挑戦的に取り組む姿勢は素晴らしい。御殿場市議会も市民と議会の充実した更なる意見交換の場を作る事は重要である。

②「議会広報紙」のより見やすい紙面づくりについて、議会モニターを7名選出していた。読者視点に構成され、また、ポルトガル語等の多言語語アプリを導入し、読み上げ機能も付加していた。御殿場市議会広報紙もその導入の検討が必要であると感じた。

③「インターネット等を活用した会議公開」については、

過去一般質問のみであったが、議会本会議の全質疑も全て公開し、その録画はYouTube配信をしていた。Zoomを活用し議会報告会をオンラインで開催し、質問等もチャットで行いテンポ良く出来た。また、オンライン委員会も過去2回開催されていた。本市もインターネットを活用した会議公開は、オンライン会議を可能とする体制作りとともに、今後取り組む事は必要である。

広報委員会委員長

辻川 公子



5月19日 愛知県知立市議会 議場にて



議長日記

御殿場駅に新たな見所が加わりました。

それは箱根乙女口にこの度設置されたポットスチル（蒸留器）のことです。市では「水が育む御殿場の魅力」のPR提案をしたところ、キリンデイスティラリー株式会社様より創業以来、半世紀ウイスキー製造に使用されていたものを移設寄贈していただいたものです。

市のモノキュメントとして訪れる方や市民の皆様に末永く愛していただきますようお願い申し上げます。

御殿場市議会議長 菅沼 芳徳

令和4年度 政務活動費について

政務活動費は、議員の調査研究その他の活動に役立てるために必要な経費の一部として、会派または議員に対し交付することができる費用で、御殿場市議会は1人当たり年額20万円となっています。

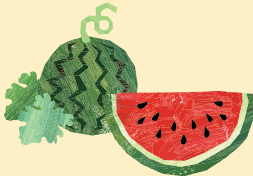
会派名／所属人数	交付額(円)	支出額(円)	残額(円)	支出率(%)
公明党 / 2人	400,000	283,582	116,418	70.9
新政 / 5人	1,000,006	729,318	270,688	72.9
新風 ごてんば / 2人	400,002	357,260	42,742	89.3
改新 / 3人	600,004	346,237	253,767	57.7
市民21 / 5人	1,000,005	748,039	251,966	74.8
みくりやの郷 ネット / 2人	400,001	400,001	-	100.0
無会派 (日本共産党) / 1人	200,000	195,830	4,170	97.9

市への返還額合計 939,751 円

※交付額には利子を含みます。

■ 正式な会期日程は、直前の議会運営委員会決定されます。詳しくは御殿場市議会事務局へお問い合わせください。※市議会ホームページにも掲載しています。

■ いずれの日も傍聴することができます。当日、市役所東館3階の議会事務局で受付をしております。



4 水	22 金	21 木	15 金	14 木	13 水	8 金	7 木	6 水
審議採決 付託議案・追加議案	決算質疑	決算質疑	一般質問	一般質問	一般質問	決算説明	決算説明	提案理由説明・条例 補正予算等審議

9 月
定例会
の予定

9 月 定例会
9/6~10/4 (29日間)
時間はいずれも 午前10時~

編集後記

御殿場市議会の広報委員会も、どうしたら多くの皆様に議会だよりを読んで頂けるのかを検討しています。その為に委員会では広報の先進地域である知立市に視察を実施して参りました。地域性もありますが、表紙の見開きに皆様が関心のある記事を掲載するなど工夫されていました。中でもQRコードで読み込み、外国籍の方にも読めるように翻訳されるアプリも導入されていて勉強になりました。

広報委員会も少しずつではありますが、分かりやすい議会の情報提供に尽くして行きますので、お気軽に皆様のご意見・ご要望をお寄せください。

広報委員 田代 耕一

御殿場市議会広報委員会

《委員長》 辻川 公子
《副委員長》 永井 誠一
《委員》 高木 理文 川上 秀範
林 義浩 神野 義孝
田代 耕一 小林 恵美子
杉山 護



ご意見ご質問は議会事務局へ
TEL.0550-82-4323 FAX.0550-82-4326

〒412-8601 御殿場市萩原483

御殿場市議会 検索

市議会だよりには再生紙を使用しています。
印刷／有限会社 戸塚印刷所



ふれあいボックス